



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

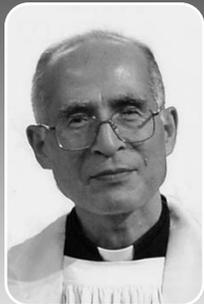
〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第417号 2011年2月20日発行

「初めに、神が天地を創造された。」

（創世記 第1章1節）

わたしの用いています日課通読表は、新年の旧約聖書は創世記から始まります。「初めに、神が天地を創造された」（創世記 第1章1節）と記されています。このことはとても大切な事を語っていると思います。全宇宙はそしてわ



司祭 ヨハネ 奥 康功

聖句断想

：初めに神が

たしたち全ての者は神様のみ手とみ心の中に置かれているということ。初めに神が天地を造られたとは、宇宙空間はわたしたちが生きている場所なり領域なりの座標としての役割が与えられていることを示しています。その次に動物や植物が造られて、その次に人間が造られたと教えています。もちろん事実ではありません。けれども古代人は、

人間が生きる場所や領域がどのようなものであるかという認識をしっかりと持つていました。人間は神様のみ心の中で生活しているということ。創世記の作者は語っているのです。この事を前提として人間社会を考えてみますと、いかにその範囲を逸脱しているかということが良く分かります。まるで聖書の順序を逆転し倒錯しているようです。「初

めに、人間が全てを造った」かのように思いこんでいるようです。人はこの世に誕生して以来自分中心的な生き方をして来たことでしよう。自分の命を維持するためには自然界の果実や生き物を奪い栄養を蓄えなくてはなりません。生存は自然に対しても他の人々に対しても厳しい対応を求めめるものです。「食うか食われるか」「自分か他者か」

「生きるか死ぬか」中途半端な思いや行動は許されないので。その様な厳しい環境の中を人々は生き抜いて来ました。しかし、それで良かったのでしょうか。わたしたちは一旦立ち止まって考えることが必要なのではないのでしょうか。どのように考えるのでしょうか。それは、自分と他の人々との共存の道があるのではないかと。少くとも現代に生きるわたしたちは自分一人で生きることが不可能です。わたしたちは多くの人々の働きによって命が維持されていることを認めなくてはなりません。それを自分分は誰の世話にもなっていないと考えることは間違っているでしょう。当然と考える思い込んでいることを今一度立ち止まって考えてみることは大切なことです。どのようなのか、それは聖書の語る神様のみ心へと立ち戻ることで。そこで出会う神様はどのような神様でしょうか。それはイエス・キリストを通して語られたように「他の人を愛する」ということです。

それが神様がこの世を造られた意図であったからです。その事を聖書は強く訴えています。人々が神様の意図を逸脱してしまつて、この世に大きな不幸が現れました。まるで「パンドラの箱」が開かれてしまつたかのように。一旦開かれてしまつた不幸（聖書ではそれを罪とよんでいます）の扉は、取り返しがつきません。修復には大変な努力が必要。この事はわたしたちが日常よく経験することです。わたしたちは何度も何度も間違いと過ちを犯します。その修復には大変な時間と労力が必要です。具体的にはどのようにするのでしょうか。それは「相手からの赦し」を求め、それ以外にありません。神様から赦していただくしかありません。しかしわたしたちはその方法を知らないのです。神様はどのようなわたしたちのためにイエス様を送つてくださった。それは十字架に付けられたのでした。それはわたしたちが神様との関係を修復するためにどうしても必要な行為だったので。神様が他人の過

（次頁最下段につづく）



被献日礼拝の聖餐式 (説教：竹林經一司祭)

教区婦人会被献日礼拝

竹林司祭が説教

「家族と共に教会生活のリピーターに」

ミリアム 岡部 美枝

前日迄の寒さが少し和らいだ2011年2月2日(水) 大阪教区婦人会の被献日礼拝 (日本聖公会婦人会創立記念

日)が聖贖主教会で守られました。午前10時30分から大西修主教の司式により聖餐式が行われ、特祷「この日、独

りのみ子は、律法に従い、神殿において献げられ」と祈りました。

説教は竹林經一司祭が、当日の福音書(聖ルカによる福音書2章22節以下)の出来事から、2つのキーワードに思いを馳せ、興味深く語って下さいました。

一つめは、今ブームの『パワースポット』です。若い人々を中心に、神秘的な事、癒されたいという思いが強く、神社仏閣

を訪ねる事がブームです。イエス様の時代のエルサレムの都と神殿は正にパワースポットだったのでは…。

そして聖書の中のシメオンとアンナが、神殿を護り、神を賛美し、主を待ち望んでいた生き方に重ねて話されました。

二つめは、『リピーター』です。イエス様の家族(聖家族)は生活費を切りつめてでも、毎年エルサレムに巡礼し、神殿で礼拝を献げました。エルサレムの地へのリピーターです。そして現在のテーマパークの成功は、このリピーター達によるものだと述べられました。

私達の教会生活は、子ども、孫、家族を巻き込んでリピーターにならないと弱くなってしまうと教えられました。そして、祈禱書に記されている誕生感謝の祈りや子ども祝福式を大切にしたいと話されました。

午後からは、「会則を考える会」主催で、70人余りの方々と共に、婦人会会則について色々な意見をお聞きし、これからの大阪教区婦人会の働きの参考にさせて頂きました。当日の出席者は157人(聖職者9人)、信施金208,576円は日本聖公会婦人会に送られます。会場を提供して下さいました聖贖主教会の皆様には感謝致します。(おかべ・みえ 大阪聖パウロ教会)

阪神・淡路大震災16周年

西宮聖ペテロ教会で

厳粛に「追悼のつどい」

西宮聖ペテロ教会では1月17日(月)夕、阪神・淡路大

震災16周年を迎え「追悼のつどい」(次頁4段目につづく)

(前頁よりつづく)

ちを赦すために自分自身の手で代償を支払われたのです。「ここに愛があります」。このようにしてわたしたちは再び神様のみ手の許に戻り「初めに、神が天地を創造された」状態の中に取り戻されたのです。今日の政治的にも経済的にも大変困難な時期に直面しているわたしたちは余裕が出て来れば神様を信じて良いけれど今はその余裕がないから神様のことは後回しにしようと考えているのかもしれない。しかしそれではいつまで経っても困難に追いつき追いつくことは出来ないでしょう。解決することが出来ないのです。「他の人と共に生きる」相手からの赦しを求める「生き方」を求めなくては現状は一つ解決しません。心を静めて自分自身の心の中を注視し、また周囲の人々の心の中を思いやることのできる暖かい人になりたいものです。新年に聖書の最初のみ言葉から導かれるままに記しました。主に感謝します。(おく やすのり・西宮聖ペテロ教会牧師)



希望に満ちた1年を!!

暦の上ではもう春。

昨年11月の

教区会後、教区の新年度諸委員も決まった。各教会では新しく教会委員が選出され、受聖餐者総会も開かれ、今年度の宣教計画などが策定されたことである。暗い話題の多い昨今であるからこそ、教会は主イエス・キリストから託された、明るく希望に満ちたメッセージを伝えていく大切な使命が与えられていることを忘れないようにしたい。それは決して現状を軽視したり無視したりすることではない。現状の暗闇の中に光を見出し、その光を人々に指し示していくこと、そのためにわたしが、わたしたちが、教

会が、教区ができることを一つでも二つでも見出し、実践していくことである。

3月末で4人の司祭が定年退職される。長年のお働きに対して深甚の謝意を表したい。彼らの働きを見えないところで支えてくださったお連れ合いにも感謝したい。退職後も囑託として主日を中心に幾つかの教会でご奉仕いただく予定である。

3月には3人の聖職候補生が神学校を卒業し、4月から新任地の教会での生活が始まる。「教役者は良き信徒によって育てられ、信徒は良き教役者によって養われる」と言われてきたが、現在もこの言葉は生きている。新たに聖職候補生を迎える教会とそこに遣わされる聖職候補生を覚えて、教区内のすべての教会でも祈ってほしい。

嬉しいニュースがある。

今春には新司祭が誕生する予定であるし、年内には新執事が誕生するかも知れない。また、4月から一人の聖職候補生志願者がウイリアムス神学館へ入学する。

大阪もこの冬は久々に寒い冬だったが、日差しはすでに春の気配を感じさせる。日だまりには気の早いスマイレの花も咲き始めている。冬眠から覚めるべき時が来ていることを自然界は告げている。

「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ること」(フィリピ3:13-14)に邁進したい。
(主教サムエル大西修)



(前頁よりつづく)

どい」を催し、震災時の苦しい思い出がますます風化して行く中、静かに思いを馳せるひとときを持った。

震災の翌年から始まった同教会の追悼の集会には、これまで2つの合唱団が参加し、「礼拝とコンサート」の形をとってきたが、一昨年、礼拝堂にパイプオルガンが与えられたことから、趣きを変えて信徒によるオルガン演奏と独唱が献げられることになり、

拍手のない厳粛な「つどい」となった。また一般の方々が参加しやすいように「礼拝」よりも「つどい」のタイトルをとり、参加者64人のうち3分の1が一般の方だった。

大西修主教はメッセージで「自分の体験は忘れたいが、他人のことは忘れやすい。自分のこととして受けとめる感性を持つべきだ」と、「震災の風化」を憂い、さらに「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」との「ローマの信徒への手紙」を引いて、思いを共に分かち合うことの必要と、悲しみ、苦しみ、重荷を負う人に寄り添うことの大切さを説かれた。

そのあと全員で聖歌を3曲歌い、大西主教が「震災犠牲者のための祈り」を献げられ、1時間15分の「つどい」を静かに終えた。(編集部)
(写真提供・森 英雄さん 西宮聖ベテロ教会)

主と共にあゆむ 12

私の「出エジプト」ついに教会の門へ

井脇 宏行



私が初めてキリスト教に触れたのは、母の影響を受けて、中学生になった時に通った日曜学校でした。そして成長するにつれ、その熱意も希薄になり、ついには主から離れ去ってしまいました。

以来世間の喧噪のなかで、経済的にも人間関係にも苦しみ悶えた人生を送りました。あたかも出エジプトにある、40年間さまよったイスラエルの民のようです。そして最後にたどりついたのが、石橋聖トマス教会の門でした。すべてを失いかけた私は、聖書を読み、必死に祈り、主に最後を託したのです。

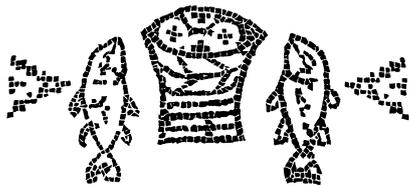
今ではサーバーをさせていただき、主の近くに居させていただいていることで、無類の感激と幸せと何者にも負けない強さを感じております。ところどふと過去を振り返

ってみますと、このさまよった人生の中で窮地の崖っぷちに立たされたとき、不思議なことに誰かが救いの手を差し伸べて下さったことが度々ございまして。私はこの時、きっと先祖の霊か守護霊が守ってくださっているのだと思っておりました。今考えますのに、これはきっと主のみ業であり、救いであったのだと思います。何十年もの間、主を顧みず罪を重ねていた私を、許し受け入れ、見守ってくださった主の慈愛だったと心から感じております。

今日を顧みた時、主は大いなる計画を私のために作られました。いつまでも主に帰らず離れ去る私に、艱難を与え、そしてついに主に向き合う私をお創りになったのです。

今更ながらこの様な事が出来るようになる方に、私は感謝し

て止みません。またこの感謝とともに、これからの人生も御心に沿いますようにと念じております。そして私のすべては、主のご計画のままに。
(いわき ひろゆき・石橋聖トマス教会)



大阪教区「聖週」の礼拝予定

- 聖木曜日
4月21日(木)
午前11時
大阪教区聖木曜日聖油聖別の聖餐式
(司祭接手約束の更新)
司式・説教 サムエル 大西 修 主教
- 聖金曜日
4月22日(金)
午後1時
大阪教区聖金曜日(受苦日)教区礼拝
(主の御苦しみの黙想と陪餐)
司式 サムエル 大西 修 主教
説教 テモテ 内田 望 司祭
- 午後6時30分
大阪教区聖金曜日(受苦日)教区礼拝
司式 サムエル 大西 修 主教
説教 ウィリアムス 竹内 信義 司祭

大阪教区子ども礼拝

キッズフェスティバル 2011

ほら、きみの心にイエスさま!



「あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。」

(ルカによる福音書24:6)

4月29日(金・祝) 10:00~15:00

会場: 川口基督教会

主催: 大阪教区 宣教部生涯学習委員会
(委員長 司祭 アンデレ 磯 晴久)

問い合わせ/ 石橋聖トマス教会 TEL: 06-6854-8657
キッズフェスティバル実行委員会: 斎藤みち

申し込み/ 教区事務所 (FAX 06-6621-3097)



京都教区との協働を目指して 聖職と教会紹介 ③



司祭 テモテ 宮嶋 眞
(聖光教会 牧師)

お久しぶりです。京都教区へ移り、平安女学院で4年間、その後聖光教会で6年間お世話になっていました。現在は聖光幼稚園の園長でもあります。1日は、朝8時半に登園してくる子ども、保護者を門前でお迎えすることから始まりです。3〜5歳の約70人の子どもが、徒歩、自転車、マイカーで登園してきます。それぞれに「おはようー」と声をかけ、その日の様子や調子を見ます。門前を通る通勤・通学者、犬の散歩の方にも声をかけます。松ヶ崎地域300軒の市政協力委員、防災部長、交通安全協力委員、保健体育委員（これはいつ任じられたのか自覚がありません）などもさせていただくようになり、5年が過ぎました。赴任した当初は、

幼稚園に対する激しい苦情をおっしゃる方が近所におられました。地域を回っているうちに、少しずつ人間関係も深まってきて、お寺のお坊さんのようにはいかないまでも、存在感が少しは出てきたかなと思います。新聞配達で、月2回町内を一周したり、国勢調査を手伝い、町内会費や共同募金を集め、サマリア会と称して、教会員とともに町内のゴミ拾いをしながら、わが町「松ヶ崎」をパリスシユとしてようやく認識してきたようにも思います。聖光は教区事務所から車で15分と、とても足場の良いところです。教区のお役もたくさんいただいで、更に平安女学院理事として、お手伝いさせていただき、本当は裏山によく現れる

鹿の家族のようになんビリと自然を楽しみながら、還暦を迎えても走り回っているのが現状です。幼稚園から続けて来ている日曜学校の子どもがたくさんいて、クリスマス・ページェント、キャロリング、遠足、



奥 晋一郎と申します。1971年3月11日、大阪市生まれ。ウイリアムス神学館卒業後、伊勢聖マルコ教会、京都聖三一教会を経て、現在、京都聖ステパノ教会牧師、平安女学院中高チャプレン。旅行に行くのが好きで、2年前の夏には全くフランス語が話せないのに、一人でフランスに出かけました。また国内旅行も好きで、今年も夏に数日間、どこかに出かけたいと思っています。

夏のキャンプなどもさかんです。ご多分にもれず、スタッフ不足で、教会員のおじさん、おばさんに頼るこの頃です。でも今をときめく前原誠司外相も、この幼稚園、日曜学校の出身だったということなどにも励まされつつ、子どもとともに歩んでいます。お元気です。（みやじま まこと）

司祭 サムエル 奥 晋一郎
(京都聖ステパノ教会 牧師)

京都聖ステパノ教会は今年創立28周年を迎えます。京都市西京区にあり、阪急京都線桂駅が最寄りの駅です。近隣は住宅地で、京都、大阪のベッドタウンです。聖ステパノ教会は家を改装していますので、礼拝堂がものすごく狭いですが、パイプ椅子を並べて毎主日礼拝を行っています。礼拝後はパイプ椅子を片付け、机を出して昼食をいただいています。信徒の多くは近隣地域に住んでおり、京都市

内の他の教会や大阪教区の教会から転籍してきた人たちです。礼拝出席者及び教会委員のメンバーは圧倒的に女性が多いのが特徴です。信徒の方一人ひとりがそれぞれの賜物を活かして、活発に活動されています。昨年は京都教区婦人会事務局の担当教会として、10人程度のメンバーで京都教区婦人会事務局を務め、婦人会大会・代表者会を行いました。小さい教会という良さもありますので、是非一度主日礼拝にいらしてください。

平安女学院中高は聖アグネス教会（京都教区主教座聖堂）の隣にあります。毎朝、朝の礼拝（朝礼）を10分間、チャペルでまた各教室で行っています。朝のひと時、ステンドグラスから差し込む光に包まれながら、チャペルで生徒と共に聖歌を歌い、祈るひと時は本当に心が安らぎます。ちなみにチャペルは聖アグネス教会として、また京都教区主教座聖堂としての3つの役割を持っています。
(おく しんいちろう)

公 示

救主降生 2011年1月16日

日本聖公会大阪教区主教

主教 サムエル 大西 修

3月31日付で、以下の人事を発令します。

司 祭	ヨハネ	成田 邦雄	定年により退職とする。
司 祭	サムエル	福田 光宏	定年により退職とする。
司 祭	ヨハネ	奥 康功	定年により退職とする。
司 祭	ダニエル	山野上素充	定年により退職とする。
司 祭	フランシス	チョウ・ジョンピル	富田林聖アグネス教会管理牧師の任を解く。

4月1日付で、以下の人事を発令します。

司 祭	施洗者ヨハネ	山本 眞	西宮聖ペテロ教会管理牧師及び尼崎聖ステパノ教会管理牧師に任命する。
聖職候補生	ジョイ	千松 清美	司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞のもとで、西宮聖ペテロ教会勤務を命じる。
司 祭	アンデレ	磯 晴久	高槻聖マリヤ教会管理牧師に任命する。
聖職候補生	ヨハネ	古澤 秀利	司祭 アンデレ 磯 晴久のもとで、高槻聖マリヤ教会勤務、及び聖ヨハネ学園チャプレン補として勤務することを命じる。
聖職候補生	クリストファー	奥村 貴充	主教サムエル大西 修のもとで、聖贖主教会勤務、及び博愛社チャプレン補として勤務することを命じる。
司 祭	テモテ	内田 望	大阪聖パウロ教会管理牧師に任命する。
主 教	サムエル	大西 修	守口復活教会管理牧師、富田林聖アグネス教会管理牧師、及び大阪聖愛教会管理牧師に任命する。
司 祭	ペテロ	岩城 聰	聖ルシヤ教会牧師の任を解き、同教会管理牧師に任命する。
主 教	ヤコブ	宇野 徹	主教 サムエル 大西 修のもとで、聖贖主教会囑託司祭、及び博愛社チャプレンとして勤務することを委嘱する。 ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。
司 祭	ダニエル	山野上素充	主教 サムエル 大西 修のもとで、守口復活教会囑託司祭として勤務することを委嘱する。 ただし、日本聖公会法規に基づき、任期を1年間とする。

なお、3月31日付を含む定年退職者で、上記の公示において任務に就くことの委嘱がなされていない下記の教役者については、あらためて、4月1日以降、囑託としての任務をお願いすることにしており、後日、その旨、公示する予定であります。

司祭	ペテロ	松山 龍二	司祭	サムエル	松岡 虔一	司祭	サムエル	坪井 克己
司祭	ヨハネ	成田 邦雄	司祭	サムエル	福田 光宏	司祭	ヨハネ	奥 康功

公 示

日本聖公会大阪教区第105（臨時）教区会を、下記のように招集します。

救主降生2011年2月1日
日本聖公会大阪教区
教区会議長 主教 サムエル 大西 修

記

- ◆会 期 2011年3月20日（日）午後2時から3時30分まで
- ◆議 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂（川口基督教会）会館
大阪市西区川口1丁目3番8号
- ◆議 題 （1）2010年度日本聖公会大阪教区一般会計決算（案）承認の件
（2）2010年度日本聖公会大阪教区一般会計 余剰金／不足金 処理（案）承認の件

なお、上記教区会の書記および会計を下記のように指名します。

書 記 司 祭 アンデレ 磯 晴久
聖職候補生 ジョージ 林 正樹

会 計 司 祭 ヨシュア 原田 光雄
ペテロ 米虫 克次

「臨時教区会」と「宣教懇談会」について

- *この教区会は、法規第106条第2項に基づいて招集される臨時教区会ですが、基本的には前年度の教区一般会計決算について、より適正な時期に審議し採決することを目的としており、2006年から毎年開催されていて、実質的には定例化しています。
- *今回も例年に倣い、教区会に引き続き、議員・代議員による「宣教懇談会」が開催されます。懇談会の内容に関しては、後日、ご案内いたします。

《講習会のお知らせ》

「み言葉の礼拝」を学ぶ

(1)

～ 礼拝の実践 ～

- 3月13日（日）午後2～4時
- 川口基督教会

信徒奉事者、また関心のある方はどなたでもご参加ください。
なお2回目は8月、3回目は11月の開催を予定しています。

主催：大阪教区 宣教部 礼拝・音楽委員会

世界の窓

○大主教会議がダブリンで開催

大主教会議が、アイルランドのダブリンにおいて、1月25日（30日）に開催された。大主教会議とは、1978年にドナルド・コガン第101代大主教によってはじめられ、カンタベリー大主教と共に38人の大主教（総裁主教、首座主教含む）が祈りと礼拝の時を持ち、世界の教会の問題や宣教

について話し合いがもたれるものである。今回の大主教会議の目的の一つは、聖公会共同体の存続に関わる大きな問題について、どのように取り組むべきかを話し合うことにある。これは、2009年にエジプトのアレキサンドリアで行われた、前回の大主教会議で話し合われた問題から一歩踏み出したものになる。
(The Anglican Communion Official Website, the Primates Meeting 2011)

★教務局(任期3年/2013年度定期教区会まで)

局長:司祭 原田光雄

◎総務部

部長:司祭 山本 眞〔委員36人(延べ), 協力委員2人〕

◆各委員会の構成(便宜上、教役者・信徒順、「長」以外は50音順)

①財務委員会〔長:小池義郎(マルコ)](12人, 協力委員1人)

小池義郎(マルコ) 太田幸彦(ルシヤ) 小野 創(守口) 上甲幸子(城南)

鈴木靖夫(マタイ) 奈良慶治良(テモテ) 服部喜代司(トマス)

〈協力委員 司祭 山野上素充〉

《管財部門》(5人)

佐野重雄(長/アンデレ) 司祭 山本 眞 宇野哲夫(アンデレ) 辻 潤(マルコ) 本井雄次(マリヤ)

※管財の任に当たる担当委員を、財務委員会内に新設した。管財部門は、財務委員会と連携しつつ、会合は独自に開くことを基本とする。

②法制委員会〔長:司祭 山本眞](5人)

司祭 山本 眞 小出裕司(アンデレ) 春名英夫(マタイ) 馬場悦郎(パウロ) 山下幸利(三一)

※4月以降、奥村貴充、千松清美、古澤秀利の3聖職候補生から一人。

③歴史編集委員会〔長:司祭 竹林徑一](7人, 協力委員1人)

司祭 竹林徑一 司祭 山本 眞

伊藤範子(ルカ) 小池宣郎(マルコ) 高木弘子(ヨハネ) 奈良慶治良(テモテ) 真鍋倫子(城南)

〈協力委員:西口 忠(桃山学院史料室)〉

④教役者養老厚生基金委員会〔長:野知卓司(ヨハネ)](6人)

野知卓司(ヨハネ) 執事 井上進次 井上美津(マタイ)

久保孝彦(ペテロ) 高田須磨雄(三一) 牧口 望(トマス)

⑤広報委員会〔長:聖職候補生 林 正樹](6人)

聖職候補生 林 正樹 司祭 鍋島守一

大橋 襄(川口) 小川淳子(ヨハネ) 辻 節子(トマス) 林 義人(マリヤ)

◎宣教部

部長:司祭 齊藤 壹〔委員35人(延べ), 協力委員6人(延べ) / 留=留任, 新=新任〕

◆各委員会の構成(便宜上、教役者・信徒順、「長」以外は50音順)

①社会宣教委員会〔長:司祭 鍋島守一](12人)

司祭 鍋島守一 司祭 内田 望 執事 田宮 紘 聖職候補生 古澤秀利(4月から)

尼子美喜(マリヤ) 大田美智子(マルコ) 岡部美枝(パウロ) 田中 廉(トマス)

速水健二(ルシヤ) 牧口一二(ヨハネ) 宮脇博子(マルコ) 山口善彦(三一)

②礼拝・音楽委員会〔長:高橋明子](6人, 協力委員3人)

高橋明子(川口) 司祭 内田 望 小野田富美子(テモテ)

廣末規久子(城南) 樋口比呂美(トマス) 和田育子(マルコ)

〈協力委員:斎藤みち(トマス) 辻 彩乃(川口) 田中 史(川口)〉

③在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会〔長:司祭 岩城 聰](8人, 協力委員3人)

司祭 岩城 聰 司祭 チョウ・ジョンピル 聖職候補生 奥村貴充(4月から) 青柳美知子(ペテロ)

鈴木光子(ステパノ) 田原敬司郎(アグネス) 須佐美浩一(川口) 鈴木靖夫(マタイ)

〈協力委員:執事 井上進次 浅海由利恵 呉 光現(聖公会生野センター)〉

※他に交渉中の候補者がいる(後日、発表)。

④生涯学習委員会〔長:司祭 磯 晴久](9人)

司祭 磯 晴久 司祭 山野上素充(3月まで) 聖職候補生 千松清美

上田結子(ガブリエル) 斎藤みち(トマス) 成岡宏晃(アンデレ)

錦織依子(マルコ) 本間欣吾(マリヤ) 村上恵依子(トマス)

※協力委員を含め、他に交渉中の候補者がいる(後日、発表)。

大阪教区 各委員会・担当者等の構成 便覧 (2011年2月1日現在)

※便宜のための一覧表で、組織図ではなく、全体的には順不同です。

ただし、便宜上、各委員会等において、「長」以外は教役者・信徒順、50音順とした。

※3月末の定年退職者は3月まで現任委員。それに伴い、4月以降の後任委員等で確定している場合はその旨、記載した。

※定員の定められた委員等以外は、必要に応じ任期途中でも新たに加わることがあり得る。

★教区主教 主教 大西 修

★常置委員(定員 聖職3人 信徒 3人/任期1年=2011年度定期教区会まで)

聖職 司祭 竹内信義(長) 司祭 岩城 聰 司祭 山本 眞
信徒 鈴木光子(ステパノ) 長野泰信(トマス) 畑野めぐみ(マルコ)

★総会代議員(定員 聖職2人 信徒 2人/任期2年=2012年開催の定期総会公示日の前日まで)

聖職 司祭 岩城 聰 司祭 山本 眞
信徒 佐野信三(贖主) 長野泰信(トマス)

★会計検査委員(定員 若干名/任期1年=2011年度定期教区会まで)

江野隆夫(トマス) 佐藤正子(マルコ)

★諸委員・担当(管区各委員会との窓口を兼ねる)

◎聖職試験委員会(〈 〉内は担当科目/9人)

司祭 山本 眞(長)〈旧約聖書〉
司祭 奥 康功(4月まで/4月から 司祭 岩城 聰)〈教理〉
司祭 福田光宏(4月まで/4月から 司祭 内田 望)〈礼拝〉
司祭 齊藤 壹〈新約聖書〉 司祭 竹林徑一〈教会史〉 司祭 原田光雄〈宣教・牧会・法規〉
井上美津(ヨハネ) 佐野信三(贖主) 猿橋 靖(マリヤ)〈説教/他の全聖職委員とともに担当〉

◎聖職養成委員会(6人)

司祭 山野上素充(長/4月まで/4月から 司祭 磯晴久)
司祭 磯 晴久 司祭 齊藤 壹 司祭 山本 眞
井出仁雄(ペテロ) 久保義道(ミカエル) 長野加代子(トマス)

◎大阪教区台湾委員会(7人)

司祭 竹内信義(長) 司祭 岩城 聰 司祭 竹林徑一
池本彰男(ガブリエル) 小出裕司(アンデレ) 成岡宏晃(アンデレ) 松尾世謹(ミカエル)

◎主教座聖堂参事(4人/任期は「規則」により定めない)

司祭 内田 望(長) 司祭 原田光雄
小出裕司(アンデレ) 岡野美智子(川口)

◎教区審判廷審判員(9人/教区主教以外任期4年=2011年度定期教区会終了まで)

主教 大西 修(長) 司祭 原田光雄 司祭 山本 眞
石田美郎(聖愛) 井上美津(ヨハネ) 小出裕司(アンデレ) 佐野信三(贖主) 畑野めぐみ(マルコ) 山崎弘子(川口)

◎神学生後援会常任理事(7人/教区主教、教務局長、事務所職員以外任期3年/2013年末まで)

主教 大西 修(長/教区主教)
司祭 原田光雄(教務局長) 司祭 松平 功
阿部仁美(庄内) 太田幸彦(ルシヤ) 米虫克次(教区事務所職員) 長野加代子(トマス)

◎管区連携委員(管区の各担当委員会に対応する教区の担当者)

*青年 司祭 磯 晴久 *正義と平和 司祭 鍋島守一 *人権 司祭 齊藤 壹

★諸団体チャプレン

◎教区婦人会チャプレン

司祭 内田 望

◎教区GFSチャプレン

司祭 福田光宏(4月まで/4月から 司祭 原田光雄)

◎教区連合男子会チャプレン

司祭 福田光宏(4月まで/4月から 司祭 岩城 聰)

教 区 の 動 き

常置委員会報告

11月23日(第1回定例)

互選により、常置委員長に竹内信義司祭を、書記に岩城聰司祭を選出した。

会聖餐式での説教は体調不良のため代読となったが、午後の聖贖主教会でのプログラムは無事行われた。

4. 12月5日午後、在日大韓基督教会関西地方会60周年記念礼拝に出席した。

5. 2012年に開催される宣教協議会の教区担当連絡者に原田司祭を任命した。

12月9日(第2回定例)

11月11日開催の第12回定例常置委員会議事録を確認。

I. 主教報告

1. 現時点で決定している教区の行事、主教の予定が報告された。

2. 2月11日に主教按手式・東京教区主教就任式が香蘭女学校で行われる予定。主教被選者は司祭アンデレ大畑喜道師。

3. エルサレム・中東聖公会のエルサレム教区ダワニ主教は、11月23日の教区会開

ての教区会規則改正について教区会において出されていた意見については、引き続き検討する。

2. 信徒奉事者の推挙

次の合計30人について推挙する。アンデレの3人、守口の1人、ヨハネの2人、マタイ1人について新規の認可書を発行。その他はすでに出ている認可書に裏書きをする。

① 川口基督教会・横倉宏、内海良輔、社領共美、ユーワ・ヒューム、田中史② 守口復活教会・原田契、小野創、義平雅夫③ 石橋聖トマス教会・服部喜代司、山崎信、原楨寿子、牧口眞理④ 西宮聖ペテロ教会・岡田東一、倉戸ナオミ、瀬戸栄一、久保孝彦⑤ 芦屋聖マルコ教会・辻潤、長野紀子、伊藤良三、錦織依子、和田育子⑥ 大阪聖パウロ教会・浅田通子⑦ 大阪聖ヨハネ教会・廣政博、興津健蔵、野知卓司⑧ 大阪聖三一教会・高田須磨雄⑨ 恵我ノ荘聖マタイ教会・鈴木靖夫⑩ 大阪聖アンデレ教会・小出幸代、岡田哲夫、成岡宏晃

3. 決算のための臨時教区会は、3月20日招集する。

4. 主教からの諮問に応え、2011年4月以降の人事案について協議した。

1月24日(第3回定期)

12月9日開催の第2回定例常置委員会議事録を確認。

I. 第104(定期)教区会議事録朗読と承認

書記である磯司祭から朗読があり、一部字句修正の上、承認。

II. 主教報告

1. 現時点で決定している教区の行事、主教の予定が報告された。

2. 1月16日に3月31日付、4月1日付の人事異動の公示を行った。2月中に第2回目の公示を出す予定(主として4月1日付の嘱託に関する人事異動)

3. 2月22日(火)～24日(木)に、井上執事の管区聖職試験が行われる。

4. 日本聖公会宣教協議会は、2012年9月14日～17日

に、浜松・浜名湖で開催される。

III. 教務局長報告

1. 教務局総務部・宣教部の各委員会構成について報告があった。(詳細は8～9頁参照)

2. 2010年12月分一般会計収支決算についての報告があり承認された。

3. 2011年度 教役者、教区事務所職員給与について承認申請があり、承認された。

IV. その他の報告

1. CMSからフィリップ・フォーブス氏が、プール学院大学のアシスタントチャレンとして派遣。4月から赴任。主日の教会勤務について、検討することとなった。

V. 協議事項

1. 東京教区主教按手式・就任式に、教区代表として、常置委員長・竹内司祭を派遣する。

2. 聖公会神学院卒業式(3月5日)に、教区代表とし

1. 信徒代議員の変更につい

III. 協議事項

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇3月9日(水)午前11時

於:主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 松岡虔一司祭

- 執事 ペテロ 井上 栄 (1966.3.1)
- 司祭 フレッド・ケトルウェル (1952.3.3 英)
- 伝道師 南 民子 (1961.3.10)
- 司祭 山崎 貞一 (1951.3.15)
- 宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーデイナー(1970.3.17 英)
- 宣教師 リーラ・ブル (1924.3.20 米)
- 司祭 パウロ 安倍 騰 (1945.3.20)
- 主教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932.3.21 英)
- 司祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969.3.22 英)
- 伝道師 ハンナ 田中 ヲハナ (1983.3.23)
- 宣教師 メアリー・ダブルデイ・ウッド (1891.3.24 英)
- 伝道師 林 歌子 (1946.3.24)
- 宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965.3.24 英)
- 伝道師 姉川 鷺声 (1989.3.24)
- 司祭 岸本 隆一 (1953.3.26)
- 司祭 ステパノ 東海林 定一 (1993.3.26)
- 司祭 伊藤 堅逸 (1967.3.28)

◇4月13日(水)午前11時

於:主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 原田光雄司祭

- 執事 中西 義之 (1909.4.1)
- 主教 ジョン・マキム (1936.4.4 米)
- 司祭 ジョージ・ウイリアム・ローリングス (1933.4.7 英)
- 司祭 名出 武 (1945.4.7)
- 伝道師 織間 小太郎 (1934.4.15)
- 司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956.4.15)
- 司祭 ペテロ 藪本 竹次 (1979.4.15)
- 司祭 ジョン・キヤメロン・マクドナルド (1993.4.15 加)
- 司祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001.4.17)
- 宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922.4.20 英)
- 司祭 ステパノ 井上 俊一 (1983.4.20)
- 宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002.4.21 英)
- 司祭 早川 喜四郎 (1943.4.23)
- 主教 ジョン・チャールズ・マン (1967.4.28 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前11時から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

- て常置委員・岩城司祭を派遣する。
- ウイリアムス神学館卒業式(3月16日)に、教区代表として磯司祭を派遣する。
- 3月3日に開催される京都教区との合同常置委員会の協議内容について検討した。
- 第105(臨時)教区会の書記は、引き続き、磯司祭と林聖職候補生であることを確認。教区会後の懇談会は、プレ宣教協議会について
- 7.「教会奉仕者のための学び」は4月以降も継続。時間・
- 6. 大阪聖パウロ教会で行っている教区の英語礼拝は、2011年度も毎月第4日曜日午後4時から、引き続き実施する。
- 9. 主教指名による委員会について、主教より報告があり、同意した。(詳細は8~9頁参照)

内容の主教の報告文書と、第102教区会で報告された「大阪教区の将来を考える小委員会の報告」とを土台にして、教区の近い将来の姿を実際的に展望する話し合いを持つことにする。

8. 「信徒のための学び」のプログラムは、山野上司祭に、引き続き、立案、実行への段取りを担当してもらおう。

祝受洗

祝受按

大正聖愛教会	石橋聖トマス教会	川口基督教会
マリア	ヨハネ	ミカエル
(12月25日)	(12月26日)	(12月26日)
徳永恵美子	長野耕太郎	有田昌輝
	長野 怜子	中島 祐介
	久野智恵子	ナオミ
	(1月16日)	(1月16日)
	久野智恵子	久野智恵子
	ナオミ	
	芦屋聖マルコ教会	芦屋聖マルコ教会

(次頁につづく)

聖ルシヤ教会

(1月23日)

- リベカ 山口喜久江
- フロレンス 生藤美千穂
- マリア 藤間 初穂
- マーガレット 藤間 愛美

大阪聖パウロ教会

(2月6日)

- リディア 林 良子
- ガラシヤ 柳生知須子

魂の平安を
祈ります

芦屋聖マルコ教会

パウロ ありむら 一夫

(1月3日・90歳)

西宮聖ペテロ教会

ルツ 山下千代子

(12月17日・91歳)

高槻聖マリヤ教会

マリヤ 戸塚あい子

(1月9日・86歳)

石橋聖トマス教会

桜井 勝友

(12月4日・73歳)

川口基督教会

セシリア 前島 素子

(12月13日・91歳)

サラ 近藤ハルノ

(12月14日・110歳)

教会・施設の動き

芦屋聖マルコ教会

○マルコでは、1月16日の主日礼拝、教会創立99周年記念礼拝として守った。大西主教の司式説教で、洗礼堅信式が行われ、86歳の久野智恵子さん(愛光幼稚園第10回卒園生)が洗礼・堅信の恵みにあずかられた。主教は説教の中で「芦屋聖マルコ教会はキリストのあし(足)や」と大阪弁の駄洒落でみんなを笑わせながら、宣教への力強い勧めをくだされた。

聖ガブリエル教会

○12月12日(日)の午後、ガブリエル祭「クリスマス待ち望むコンサート」を開催。出演は坂本真紀さん(大阪聖パウロ教会信徒)。教員、保育園の児童・保護者・

職員が、同姉のゴスペルを中心にした演奏を楽しんだ。

大阪聖パウロ教会

○12月4日(土)、関西NGO協議会主催で、加盟団体(日本国際飢餓対策機構など5団体)が、初の「国際協力活動紹介イベント」(ちゃやまちNGOクリスマス)を開催した。のべ約300人の来場者があり、当教会の夕の礼拝へも50人が参加。当教会を練習場に行っている大阪女学院OG聖歌隊(OJC)が賛助出演した。また来場者には教会クリスマス案内を行った。

尼崎聖ステパノ教会

○12月3日(金)に日帰りバスツアーが行われ、西宮聖ペテロ教会の方5人を始め、総勢22人が奈良の古刹と奈良基督教会を訪ねた。同教会では石塚司祭が歓迎して下さった。

お詫びと訂正

大阪教区報416号(10頁)大阪北部5教会男子会交流会「『ライフ・リバー』の夢と現状報告」の報告者がペテロ 鈴木憲二(尼崎聖ステパノ教会)となっており、編集部の誤りでした。謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

大阪教区報(417号)が無事発行できましたことに感謝いたします。今号から新たに委嘱を受けました新広報委員のメンバーが編集を担当いたします。

大橋 襄さん(川口基督)、小川 淳子さん(大阪聖ヨハネ)、辻 節子さん(石橋聖トマス)、林 義人さん(高槻聖マリヤ)、鍋島守一司祭(大阪聖ヨハネ)、林 正樹聖職候補生(大阪聖パウロ教会)以上の6人です。この内5人の委員は継続してご奉仕していただくことになりました。

広報委員長は磯 晴久司祭から、私が引き継がせていただきます。ご指導・ご協力の程、よろしくお願いたします。(ジヨージ@セント・ポール)

第12回 川口チャペルコンサート ～十字架の愛～

大斎節にふさわしい聖歌やオルガン曲を中心にお届けいたします。バッハの手がけた作品も多く選曲いたしました。どなたでもご自由にお越し下さいませ。

日時/2011年3月26日(土) 14:00~14:50

会場/川口基督教会 **入場無料**

出演/内海由美子(ピアノ) 辻 彩乃(オルガン)

